

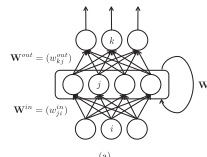
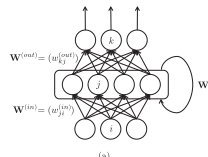
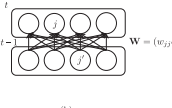
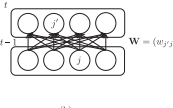


# 『深層学習』 第9刷正誤表

この度は、標記書籍をお買い求めいただき誠にありがとうございました。  
標記書籍に誤りがありました。訂正し、深くお詫び申し上げます。

ページ数	位置	誤	正
1	下から 2行目 ～	入力層から逆に伝播させ、各層の重みの勾配を計算するという方法です。この計算の際、入力層から離れた	出力層から逆に伝播させ、各層の重みの勾配を計算するという方法です。この計算の際、出力層から離れた
2	2行目	いわゆる勾配消失問題と呼ばれる現象が	いわゆる勾配消失問題と呼ばれる現象が
3	8行目	異なる原理に基づいて行われるものの、	異なる原理に基づいて行われるものの、
18	5～6 行目	その場合は出力層はユニット2つとなり、	その場合は出力層はユニットが2つとなり、
51	11行目	逆伝播計算は $\Delta^{(L)} = \mathbf{D} - \mathbf{Y}$ とした後、	逆伝播計算は $\Delta^{(L)} = \mathbf{Y} - \mathbf{D}$ とした後、
62	10行目	任意の正則な $D_y \times D_y$ 行列 $\mathbf{Q}$ に対し、	任意の $D_y \times D_y$ の直交行列 $\mathbf{Q}$ に対し、
65	12行目	$\frac{\partial \hat{\rho}_j}{\partial u_j^{(l)}} = f'(u_j^{(l)})$	$\frac{\partial \hat{\rho}_j}{\partial u_j^{(l)}} = \frac{1}{N} f'(u_j^{(l)})$
85	図 6.5 図 6.6		
95	7行目	$\bar{x}_{ij} = \frac{1}{K} \sum_{k=0}^{K-1} \sum_{(p,q) \in P_{ij}} w_{pqk} x_{i+p,j+q,k}$	$\bar{x}_{ij} = \frac{1}{K} \sum_{k=0}^{K-1} \sum_{(p,q) \in P_{ij}} w_{pqk} x_{i+p,j+q,k}$
114	図 7.3 (a)		
114	図 7.3 (b)		
116	10行目	をそれぞれ $\mathbf{v}^t = (v_j^t)$ と $\mathbf{y}^t = (y_j^t)$ のように	をそれぞれ $\mathbf{v}^t = (v_k^t)$ と $\mathbf{y}^t = (y_k^t)$ のように
120	1行目	$\frac{\partial E}{\partial w_{jj'}} = \sum_{t=1}^T \frac{\partial E}{\partial u_j^t} \frac{\partial u_j^t}{\partial w_{jj'}} = \sum_{t=1}^T \delta_j^t z_j^{t-1}$	$\frac{\partial E}{\partial w_{jj'}} = \sum_{t=1}^T \frac{\partial E}{\partial u_j^t} \frac{\partial u_j^t}{\partial w_{jj'}} = \sum_{t=1}^T \delta_j^t z_j^{t-1}$
120	3行目	$\frac{\partial E}{\partial w_{kj}^{out}} = \sum_{t=1}^T \frac{\partial E}{\partial v_k^t} \frac{\partial v_k^t}{\partial w_{kj}^{out}} = \sum_{t=1}^T \delta_j^{out,t} z_j^t$	$\frac{\partial E}{\partial w_{kj}^{out}} = \sum_{t=1}^T \frac{\partial E}{\partial v_k^t} \frac{\partial v_k^t}{\partial w_{kj}^{out}} = \sum_{t=1}^T \delta_k^{out,t} z_j^t$
127	9行目	‘ccba’ です。	‘cbab’ です。